

介護部会 Hブロック会議 報告書

実施日 令和元年 6月 26日(水) 14:00~16:00

会議実施会場 介護老人保健施設 ファイン新横浜

参加人数 6施設 10名 参加

あすなる ウェルケア新吉田 ソフィア都筑
ベルディーナ高田 ナーシングプラザ港北 ファイン新横浜

議事項目 『人材の定着と育成する為の工夫・成功例/失敗例』
介護の離職が問題となる中、各施設どのような対策を
取り、育成を進めているかの具体例の報告

内容

A施設:

現在離職率少ない。シフトはある程度希望を通しており、働きやすい環境は
整えているが、特定の職員へ入浴をやらないのか…等の不満も出ている。
育成に関してのマニュアルはあるが、個人の経験により使用。

B施設:

フォーマットもあり、OJTシートも導入しているが人材不足により記入や返信の
時間が取れていない。失敗・成功は勤続年数で評価しているが人間関係等、
環境要因での離職多い。役職者が日中に介入できる部分を作っていきたい。

C施設:

育成の書類はあるも離職率高く使用頻度減少傾向。
駅から近い為募集をかけると入っては来るが定着率低い。
曜日指定をされると難しかったり、契約面の問題が原因か。
将来の給与設計がしやすいようにキャリアプラン作成中であり、
評価制度取り入れていく。

D施設:

教育課部署を設け、育成に力を入れていたが部署担当が体調を崩し
最後までケアができなかった。現在は指導担当者をフロアごとに決めて
新人教育に努める。

E施設:

人材不足による業務負担大きく、3年以内の離職率高い。人間関係のトラブル
にも繋がるため、定期的に面談や慰労会を開催。プリセプター制度を導入して
いるがプリセプターへの教育やフォローも課題。
気分転換でAM・PMに5分休憩設けている。

F施設:

生活環境の変化による離職続く。寮も借り上げているが中堅職員の退職が
多い。プリセプター制度とは別に、各職員へラダー制度を設け、ランクで給与に差を
つけている。ランクを上げる試験は自己申告制の為、本人の意欲も必要としている。